資料４

FCP「国際標準に関する勉強会」
JGAP認証制度について

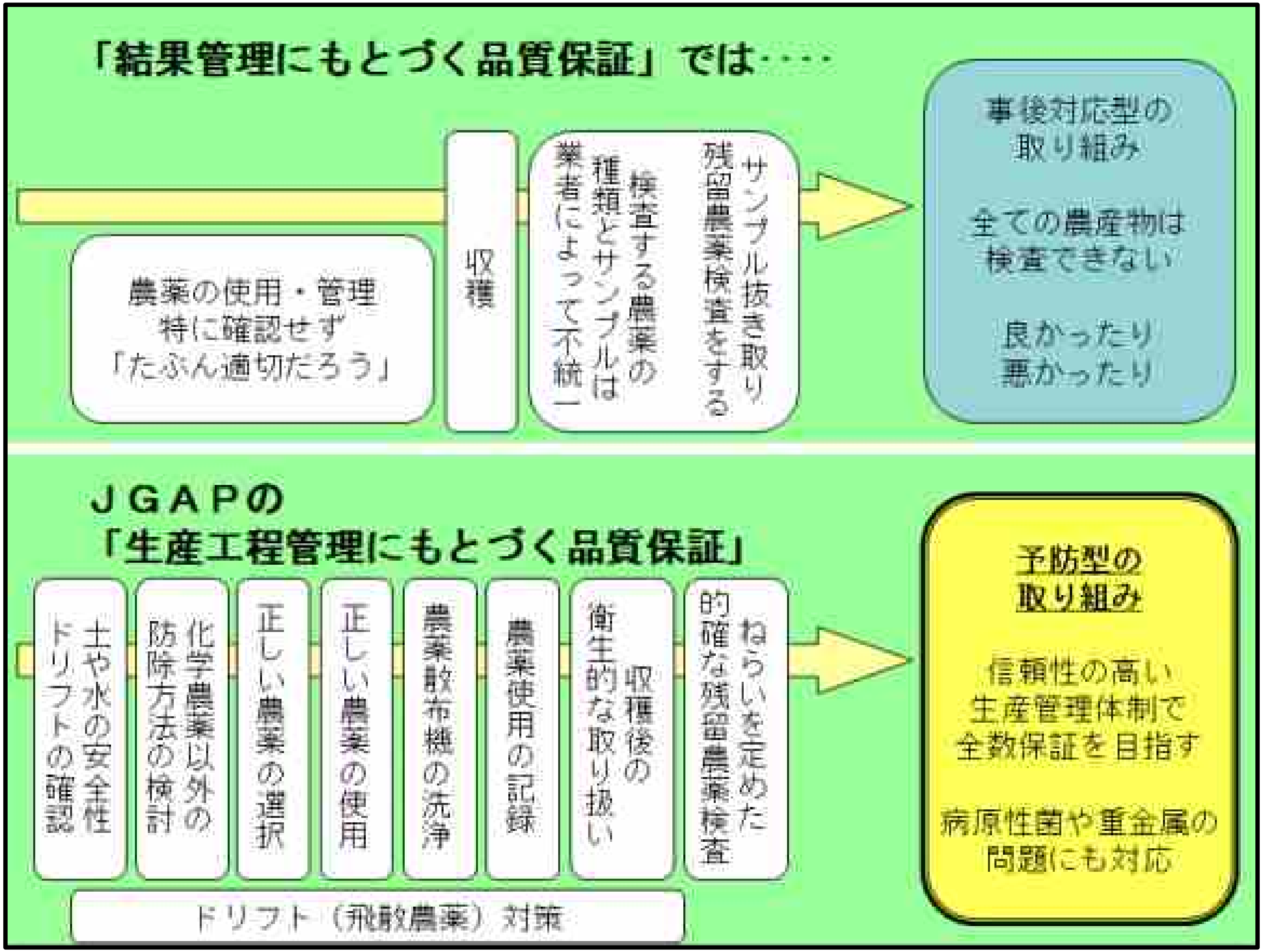
平成27年8月4日

一般財団法人日本GAP協会　荻野宏

日本の標準GAPを目指すJGAPのあゆみ

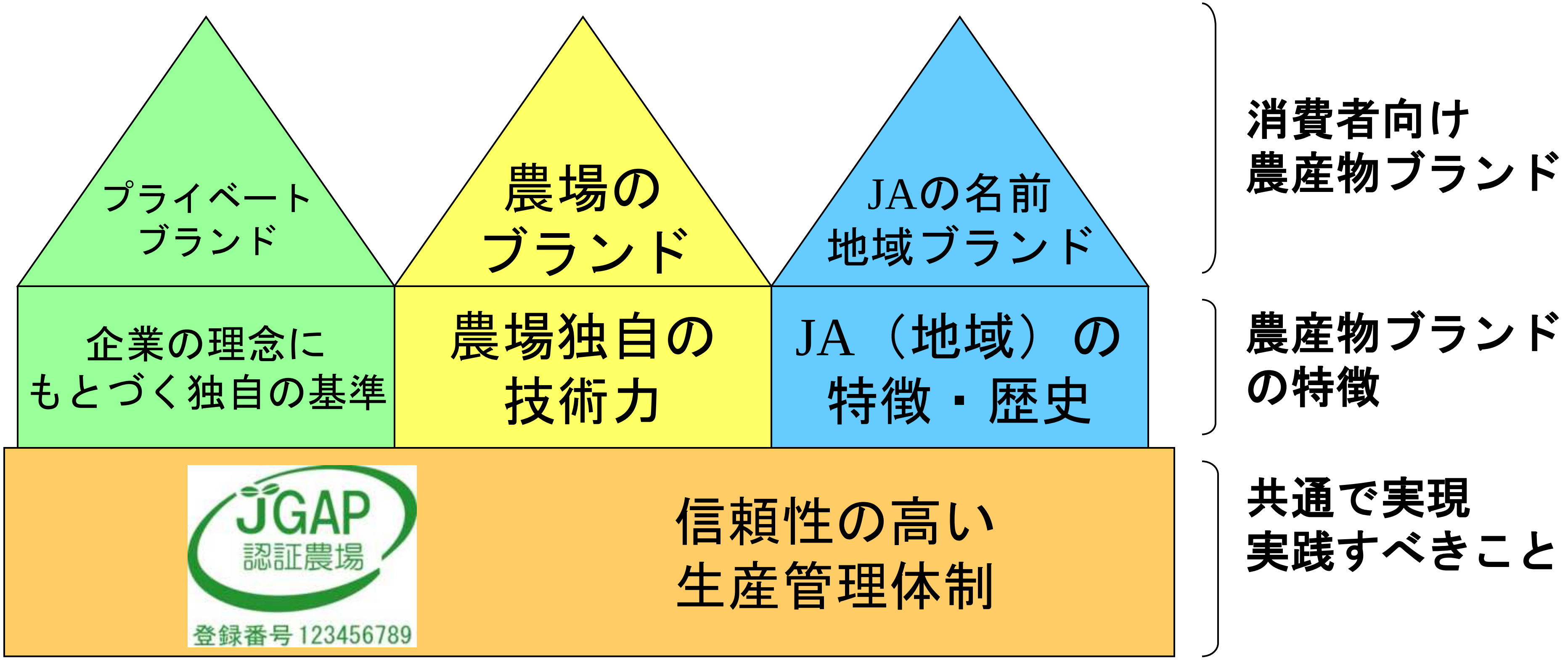
- 2002-2007年 流通・JA・行政、多様なGAPが日本国内で作られていく
- 2006年11月　日本GAP協会　設立
  設立の目的①：日本の業界標準のGAPを構築すること
  設立の目的②：世界に通用する日本の本格的なGAPを創り、普及すること
- 2007年11月　JGAPの第三者認証制度がスタート
- 2008年10月　日本GAP協会　基本方針および行動目標　策定
- 2010年4月　農水省「GAPの共通基盤に関するガイドライン」が発表
- 2010年6月　JGAP青果物2010を発表。農水省ガイドラインに対応
- 2010年7月　JGAP認証の消費者向け表示を開始
- 2011年8月　JGAP基準に放射能対策が追加される
- 2013年5月　「JGAPと他のGAPとの同等性認証」の制度がスタート
- 2013年7月　JGAP英語版の発表／JGAP取組宣言制度の開始
- 2015年1月　一般財団法人日本GAP協会、NPO法人アジアGAP総合研究所の２法人体制に発展

JGAPの考え方


「結果管理にもとづく品質保証」では・・・・
農薬の使用・管理
特に確認せず
「たぶん適切だろう」
収穫
サンプル抜き取り
残留農薬検査をする
検査する農薬の
種類とサンプルは
業者によって不統一
事後対応型の
取り組み
全ての農産物は
検査できない
良かったり
悪かったり
ＪＧＡＰの
「生産工程管理にもとづく品質保証」
土や水の安全性
ドリフトの確認
化学農薬以外の
防除方法の検討
正しい農薬の選択
正しい農薬の使用
農薬散布機の洗浄
農薬使用の記録
収穫後の
衛生的な取り扱い
ねらいを定めた
的確な残留農薬検査
ドリフト（飛散農薬）対策
予防型の
取り組み
信頼性の高い
生産管理体制で
全数保証を目指す
病原性菌や重金属の
問題にも対応

JGAPと農産物ブランドの位置付け

- JGAPマークは、農産物ブランドではありません。そのようには設計も普及活動もしておりません。
- 農産物ブランドは、事業者の方々が作るものです。
- 皆さんの農産物ブランドで、農場由来の食品事故を出さないために利用される基準・認証制度（産地管理の仕組み）がJGAPです。



JGAP 青果物 2010 目次

合計138項目

A. 農場運営と販売管理

27項目

１． 農場運営

２． 計画と記録

３． 販売管理とトレーサビリティ

B. 食の安全

72項目

４．土・水・種苗の管理

５．肥料の管理

６．農薬の管理

７． 収穫・運搬にかかわる衛生管理

８． 農産物取扱い

C. 環境保全型農業

20項目

９． 水の保全

１０． 土壌の保全

１１． 周辺地への配慮

１２． 廃棄物の適切な処理と削減

１３． エネルギーの節約

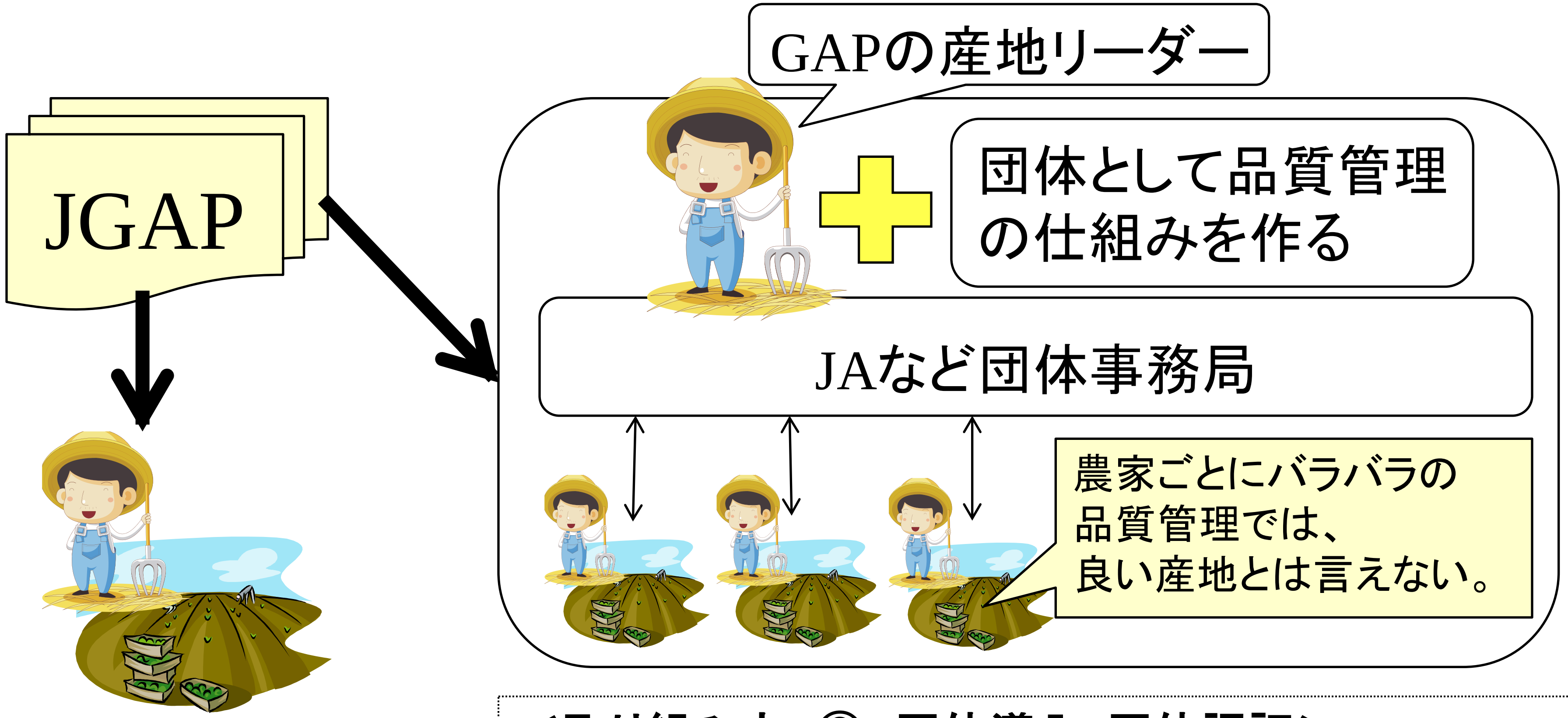
１４． 環境保全への意識と生物多様性への配慮

D. 労働安全

19項目

１５． 作業者の安全

JGAPの2つの取り組み方



取り組み方 ①
＜個別導入･個別認証＞
一つの農業経営体の品質管理体制がJGAPに適合しているかを審査する。

＜取り組み方 ② 団体導入･団体認証＞
JA生産部会などの団体で、農場と団体事務局が分担して農場管理の仕事を“効率的”に実施。

「GAPの産地リーダー（団体の品質管理の要）」を中心に団体の品質管理体制を整え、団体としてJGAPに適合しているかを審査する。

JGAP基準書

農場用 管理点と適合基準

JGAPの基準に、放射能への対応が追加されました。（青果物 2010、穀物 第2.1版、日本緑茶 第1版）

これにより、JGAP認証農場は「放射能についても安全管理が行われている農場」となります。
これまで通り、残留農薬・食中毒・異物混入についても管理されています。

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
青果物 2010	PDF	（2010年7月1日より審査・認証開始）	>>補足情報
青果物 2010(英語) JGAP2010 Fruits and Vegetables	PDF	（2013年7月20日発表 審査・認証に利用可）	
青果物2010 (中国語 簡体字版)	PDF	（2014年7月14日発表 審査・認証に利用可）	
青果物2010 (中国語 中文正體版[台湾])	PDF	（2014年7月14日発表 審査・認証に利用可）	
穀物 2012	PDF	（2012年9月1日より審査・認証開始）	>>補足情報
穀物 第2.1版	PDF	（2013年8月31日まで審査・認証継続）	
茶 2012	PDF	（2012年3月1日より審査・認証開始）	>>補足情報
茶 2012(英語) JGAP2012 Tea	PDF	（2014年10月1日発表 審査・認証に利用可）	
日本緑茶 第1版	PDF	（2013年2月28日まで審査・認証継続）	

団体事務局用 管理点と適合基準

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
団体 2012	PDF	（2012年6月1日より審査・認証開始）	>>補足情報
団体 第2.2版	PDF	（2013年5月31日まで審査・認証継続）	

総合規則

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
総合規則 2014	PDF	（2015年4月1日より審査・認証開始）	>>補足情報
総合規則 2013	PDF	（2015年3月31日まで審査・認証継続）	>>補足情報

JGAPは全ての基準書がオープンであり、無料で提供されています。

［※基準書のみならず詳細な運用の規則や各種の補足説明など、制度に関係する基本的な情報は全てHP上に開示されています。］

日本国内では、認証制度を前提としたGAPとしてはJGAPがナンバーワンのラインナップです。

海外と比較しても、本格的なGAP認証制度として必要なものは全てそろっています。

英語版・中国語版もあります。

JGAP英語版と中国語版

JGAP
英語版

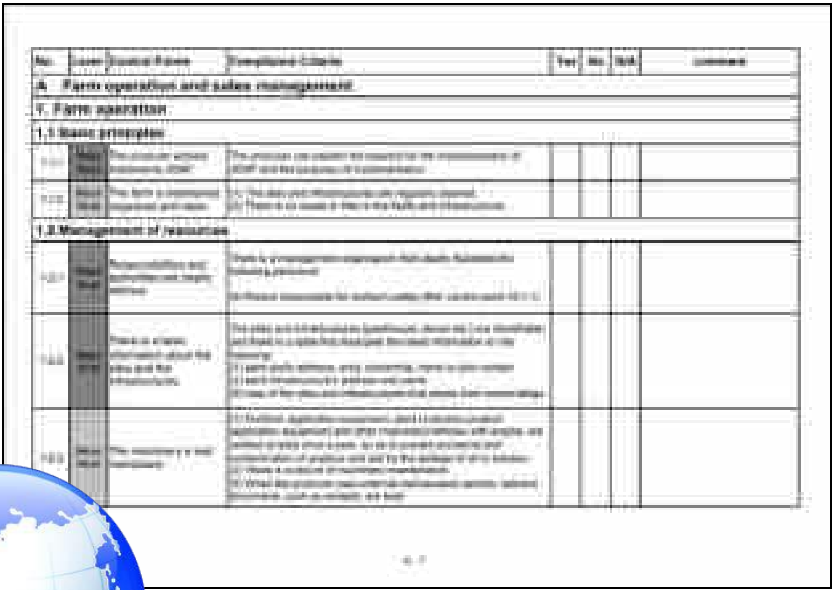
JGAP

Japan Good Agricultural Practice

Control Points and Compliance Criteria

Fruits and Vegetables
2010

Issue date: 26th May 2010
Certification starts: 1st July 2010



JGAP
中国語版

符合农林水产省「农业生产工程管理(GAP)的共同基础准则」
符合以取得GLOBALG.A.P.认证为目标的JGAP认证生产者准则

JGAP

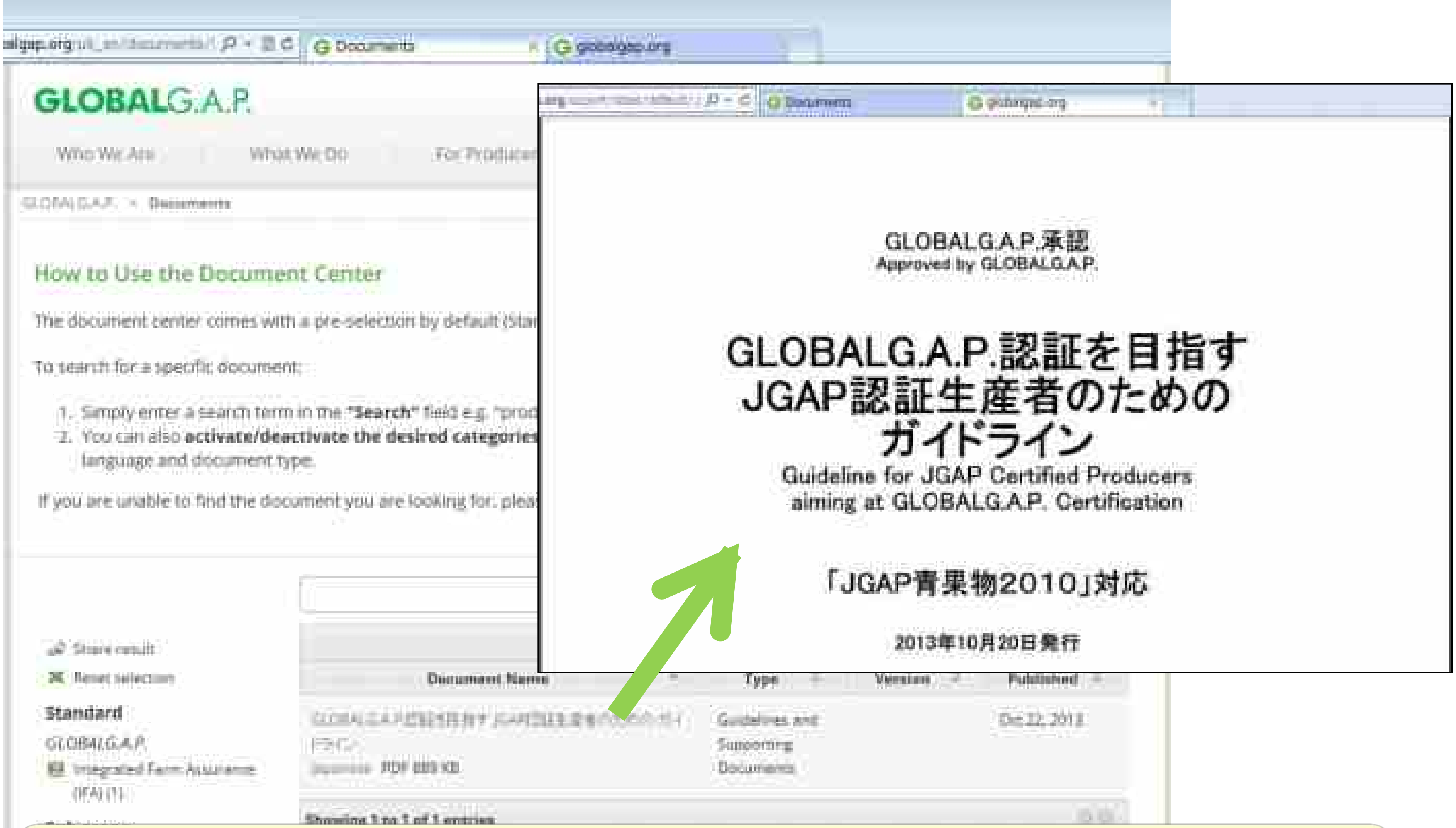
Japan Good Agricultural Practice
（ 日本良好农业规范 ）

农场专用控制点与符合基准

果蔬版
2010

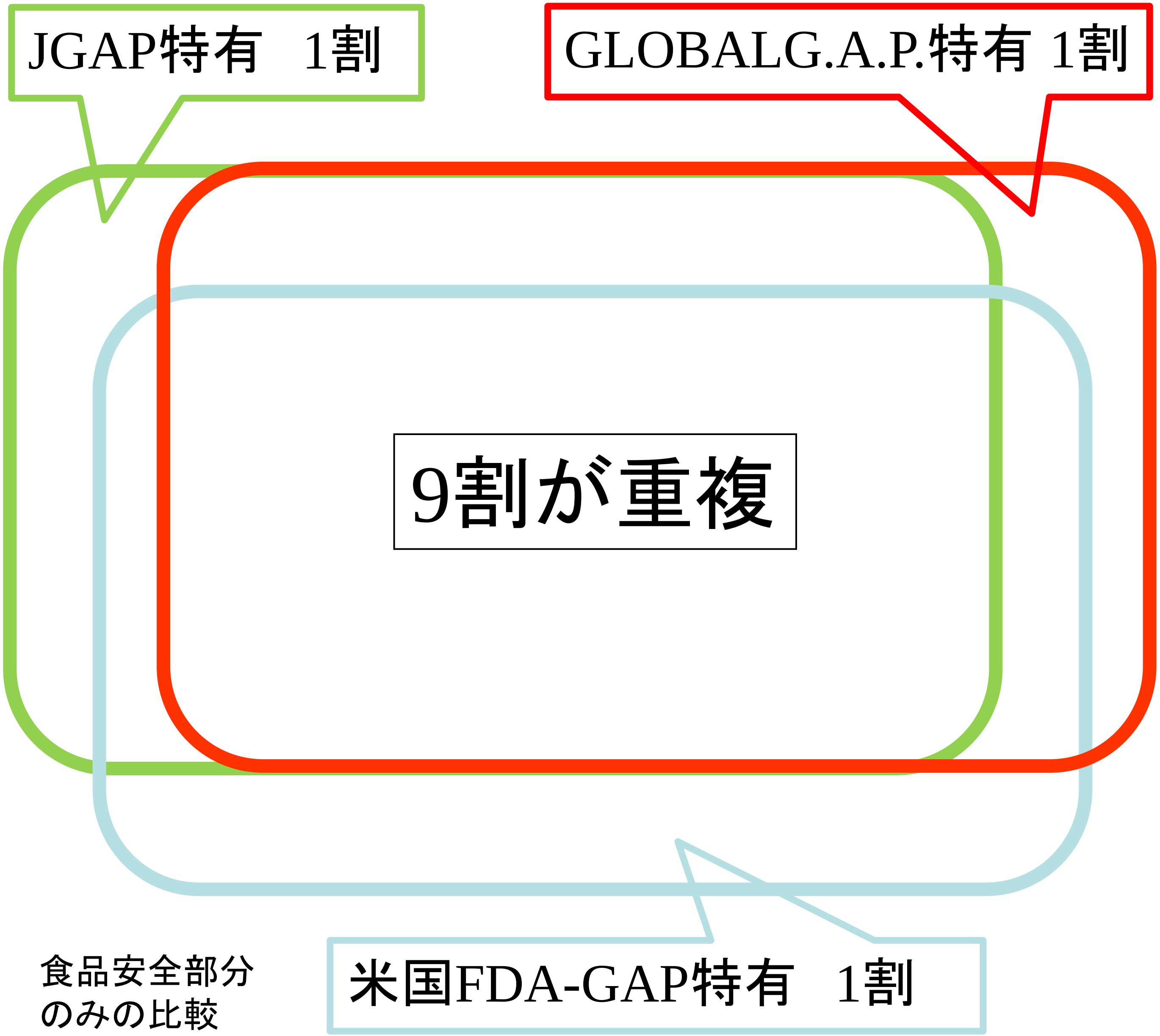
2010年5月26日发行
2010年7月1日实施认证

JGAPとGLOBALG.A.P.のつながり



JGAP認証農場は、必要に応じて
GLOBALG.A.P.認証を容易に取ることができます。

JGAPとGLOBALG.A.P.と米国FDA-GAPの違い



- どのGAPが優れているかを比較するのはナンセンス。
- どこの誰に何を売るのかによって、どのGAPの認証を取るべきか判断するのが一般的。
- GAPを作った人、想定している農業現場、重視する価値観、それらが異なればGAPも異なる。
- 例えば、米国FDA-GAPでは食品安全だけですが、GLOBALG.A.P.やJGAPでは環境保全も求められます。